

## 日本人一般集団における血清ペプシノゲン値と ヘリコバクターピロリ抗体価のデータを用いた解析

以前に J-MICC Study 京都フィールドにご協力いただいた方々の調査票や血液情報を使って下記の研究をあらたに実施しています。

この研究は愛知医科大学公衆衛生学講座と共同で実施されるものであり、実施にあたり愛知医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### **研究の目的**

ヘリコバクターピロリ感染の有無は胃がんリスクに大きな違いを与えます。胃がんの効率的な早期発見には、安価・安全な検査で胃がん高リスク者であるヘリコバクターピロリ感染者の集約についての検討が必要です。

本研究では日本人の一般集団において、従来のペプシノゲン値とヘリコバクターピロリ抗体価を用いた胃がんリスク評価に加え、新たに報告されたピロリ菌感染診断の基準を適用して、胃がんリスク分類の変化を観察することを目的としています。

### **研究の方法**

#### **・対象となる方について**

2011～2012年に J-MICC study 京都フィールドに参加協力くださった方

・ **研究期間**： 医学倫理審査委員会承認後から 2025年11月8日

#### **・方法**

J-MICC Study 京都フィールドにご協力いただいた方々の調査票や血液の情報のうち、ペプシノゲン値とヘリコバクターピロリ抗体価を用いて胃がんのリスク分類を行います。従来のペプシノゲン値とヘリコバクターピロリ抗体価を用いた胃がんリスク評価に加え、新たに報告されたペプシノゲン値のピロリ菌感染診断の基準を適用して、胃がんリスク分類の変化を観察します。

#### **・研究に用いる試料・情報について**

情報：年齢、性別、病歴、飲酒歴、喫煙歴、血清ペプシノゲン値、ヘリコバクターピロリ

ロリ抗体価 等

試料：なし

#### ・外部への試料・情報の提供

この研究は愛知医科大学公衆衛生学講座へデータを送付し解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などのご協力いただいた方々を直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

提供先：愛知医科大学公衆衛生学講座

#### ・個人情報の取り扱いについて

J-MICC Study 京都フィールドにご協力いただいた方々の調査票や血液の情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などのご協力いただいた方々を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。ご協力いただいた方々と研究用の番号を結びつける対応表のファイルは京都府立医科大学で保管します。ファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表する場合にも、ご協力いただいた方々が特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究代表者（愛知医科大学公衆衛生学講座 教授 菊地正悟）の責任の下、厳重な管理を行い、ご協力いただいた方々の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 研究組織

研究責任者

京都府立医科大学地域保健医療疫学 学内講師 尾崎悦子

研究代表者

愛知医科大学公衆衛生学講座 教授 菊地正悟

### お問い合わせ先

ご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて参加して下さった方もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも皆さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学地域保健医療疫学

学内講師 尾崎悦子 電話 : 075-251-5770